

# Rotary Club of Satte Chuo



2013-2014年度RIテーマ

ロータリーを 実践し みんなに豊かな人生を

"Engage Rotary, Change Lives"

会長 芝田 佳三

幹事 井上 亮

例会日:毎週火曜日 19:30~20:30 例会場:G-Five2階会議室

事務所:埼玉県幸手市南2-6-20 G-Five内

〒340-0156 TEL&amp;FAX 0480-44-0056

国際ロータリー会長  
ロン D. バートン氏第2770地区 ガバナー  
渡邊 和良氏(浦和北RC)2014年 3月25日 火曜日  
第727回例会 No.34

## [開会]

## [開会点鐘]

[ロータリーソング斉唱] 我らの生業

[四つのテスト唱和] 昆 裕司SAA

[会長挨拶]芝田 佳三会長

小学校の新入生健康診断を行う  
と少子化を実感します。診察時間は、以前の半分以下で  
す。最近、ベビーシッターの事件  
がありました。見知らぬ人に自  
分の子供を預ける気持ちを理解  
できません。子育ての支援を  
国はもっと考えるべきです。

## [幹事報告]井上 亮幹事

2580 地区那覇西ロータリークラブ  
主催、地球自然環境保護活  
動の一環として、Coral Planting Project が行われ  
ます。6月15日(日)、サンゴ植え付け  
ダイビングとして、今回、2回目の試みとなります。昨年10月には、500株のサンゴの植え付けが行われま  
した。参加費 ¥15000 ライセンス取得費 ¥15000 サンゴ購入  
資金 ¥20000締め切りは4月末日です。参加希望の方は、ご連絡くだ  
さい。

## [本日の例会]

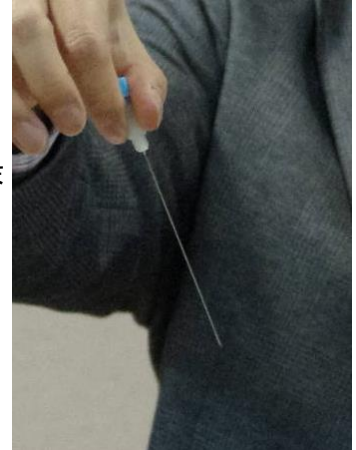
会員卓話 瀬川裕史会員

テーマ:出生前診断について  
皆様、こんばんは。

今日は「出生前診断について」

お話しさせていただきます。

いろいろと難しい問題もございま

すが、30分程度にまとめさせて頂きました。よろしくお願  
い致します。出生前診断は、妊娠9週くらいから18週くらいまでの間  
に行われる検査で、染色体異常や先天性の病気などが  
わかります。何種類かの検査方法がありますが、受ける  
前に夫婦でしっかり話し合っておくことが必要になります。羊水検査の場合は、  
おなかにこの長い針を  
刺して羊水をとって検査  
するので、わずかです  
が流産の危険性がありま  
す。その危険性を承知の  
うえで検査を受けるかど  
うか、そして、もし、検査  
結果が赤ちゃんの障害  
を知らせるものだったと  
したらどう受けとめるの  
か、検査にはいろいろな問題が含まれていることを知っておかなければなりません。  
それぞれの検査にはリスクがあります。羊水検査と絨毛検査は、確実な検査結果が得られるもの  
の、流産の危険性がゼロではありません。特に絨毛  
検査は、流産率が高いことから遺伝性の病気を持つ人  
以外にはあまりすすめられる検査ではありません。その  
ほか、血清マーカーテストや超音波診断は、不確定要素  
があるため、確実な結果を出すためには、さらに羊水検査  
などを受ける必要があります。それぞれの検査の特性  
を知り、そのうえで判断しなければなりません。

## ◆羊水検査

妊娠16週くらいに行う検査で、結果が出るまで約3週間  
かかります。検査料は病院によって違いますが、10万円  
ほど。羊水に含まれる赤ちゃんの皮膚の細胞をとって、  
染色体異常や先天性の病気などが調べられます。  
全部の染色体を調べるのが昔からの方法ですが、早く

結果を出すために、ある決まった染色体だけをねらいうちして早く調べるという方法もあります。検査にかかる時間は 10 分程度と短時間ですが、検査によって流産が引き起こされる率は約 0.3%といわれています。40 才以上の妊婦さんはこの検査を受ける率が高くなっています。ほかの検査でもそうですが、検査前に医師から十分に説明を受け、夫婦で話し合い、納得したうえで受けることが重要です。

※染色体異常とは染色体は 46 本あり、2 本で 1 組の対になっています。その数や状態に異常が起こると、赤ちゃんに障害となって現れます。21 番目の染色体が 1 本多いのがダウン症候群です。

#### ◆母体血清マーカーテスト

妊娠 16～18 週くらいに、ママの血液をとって血液中のホルモンやタンパク質などを測って調べる方法で、費用は 2 万～3 万円。トリプルマーカーテスト、クアトロテストの 2 種類があります。赤ちゃんに異常があると、その値に特徴が出るため、予測を可能にするとされています。ですが、この値は最終的には同年齢の人と比べてリスクが高いかどうかを判断するので、高齢の人には向かない方法です。例えば、染色体異常の率が高くなることがわかっている 40 才の人が検査を受けた場合でも、同年齢同士で比べるので、確率としては低く出ることがあります。アメリカでは、35 才以上だと血清検査はしないほうがいいのではないかとされています。

#### ◆超音波検査

妊娠 9～11 週に経膈超音波を使って調べます。胎児の NT(後頸部肥厚)を測定する検査です。首の後ろのたるみやむくみのようなものを超音波で測り、それが一定以上の厚みがあると、染色体異常のリスクが大きくなります。出生前診断という位置づけで、超音波検査が始められたのは最近のこと。この方法で調べている施設もありますが、検査結果で確率が高めと出ても、確実なものではありません。そのことも含めて十分な説明がなされているのかどうかなど、まだまだ検討の必要がある検査だと言えそうです。ほかにも、超音波検査では、20 週近くに赤ちゃんの心臓に大きな異常がないかなどが、それ以降は発育の様子が調べられています。

#### ◆絨毛検査

妊娠 9～11 週に胎盤のもととなる絨毛組織をとって、細胞を調べます。おなかに針を刺す方法と膈から管を入れる方法がありますが、同様の検査ができる羊水検査と比べ、流産率が約 10 倍と高いため、あまり行われていません。

#### 【出生前診断のメリット】

新生児外科領域における出生前診断の目的は患児の情報を出生前に得ることにより、周産期の治療にその診断

を役立てることである。具体的には出生前診断症例を母体搬送することで、産婦人科の治療から新生児外科治療への移行がスムーズになり、治療成績の向上が期待できる。

#### 【出生前診断のデメリット】

出生前診断のデメリットとして従来から、生存が困難な重症例を優先的に診断して救命に繋がらない点、救命可能な疾患であっても出生前診断により逆に人工流産症例数を増加させるのではないかと危惧される点、従来、知らないうちに自然治癒していた病態を診断することにより、家族の負担や不安をもたらす点などが考えられる。

#### ◆生命倫理

出生前診断の結果に基づく人工妊娠中絶には、優生学的な生命の選別に当たるなどの生命倫理的な問題があるとの意見がある。これは医学の発達とともに、検査の精度が高まり検査実施時期が早まったことで、比較的高い確率で出産前に胎児の異常を発見することが可能になった。それゆえに障害児を産み一生育てるという立場に置かれた女性の中絶を選択する権利と、障害を持つ物言わぬ子どもの生きる権利が対峙している。



#### [出席報告]

	会員数	出席者数	MU	出席者数計	%
本日	25	16	3	19	76.00%
前回修正	25	25	0	25	100.00%
前々回修正	25	15	3	18	72.00%

#### [閉会点鐘]

例会の出席はロータリアンに課せられた最低の責任です。
欠席の連絡は例会当日お昼12時までにお問い合わせ致します。
クラブ事務所 Tel & Fax 0480-44-0056
-----
広報委員会
鎌田 清久 金子 卓司